

2021年9月10日に行われた SFA と ISE FOODS HOLDINGS の MOU 調印式におけるシンガポール食品庁(SFA)の CEO リム・コク・タイ氏のスピーチ
(英文和訳)

グレース・フー 持続可能性・環境大臣
山崎純 駐シンガポール日本国特命全権大使
イセ・フーズ・ホールディングス 取締役 チャンドラ・ダス閣下
イセ食品.名誉顧問兼オーナー 伊勢彦信氏
イセ・フーズ・ホールディングス CEO 吉川月乃氏
紳士淑女の皆様

1. 本日はお集まりいただきありがとうございます。

2. 本日は、SFA と ISE がシンガポールで新しい卵生産施設を開発するための、画期的なコラボレーションの始まりです。
 - a. 世界でもトップクラスの鶏卵生産者であり、5 カ国で事業を展開している ISE と提携し、シンガポールに進出できることを嬉しく思います。
 - b. ISE は、今後数年間で、採卵農場、孵化場、種鶏成鶏農場、種鶏若雌農場の 4 つの施設を建設する予定です。
 - c. このコラボレーションにより、平均して毎日 1 個の卵を消費するシンガポール人のために、地元での卵の供給を強化します。2020 年には、卵の 70%以上を 12 カ国以上から輸入しています。地元の農場では、必要量の約 30%を生産していますが、日齢鶏(ひよこ)、ワクチン、飼料などの輸入農業資材に依存しています。
 - d. ISE の施設は、地元の鶏卵生産能力を向上させ、さらにはシンガポールの食糧安全保障を強化します。

3. このプロジェクトは、シンガポールにとって 3 つの面でエキサイティングです。
 - a. まず、卵の生産能力が大幅に向上します。4 つ目の養鶏場は、シンガポールの鶏卵生産能力を 1 日あたり約 100 万個増やすことができます。これにより、シンガポールの鶏卵需要の約 50%を生産することができます。
 - b. 第二に、卵の生産能力を拡大することができます。シンガポールには、日

齡鶏の孵化場と親株農場があります。このような能力を持つことで、現在は輸入している卵の生産に必要な資源をより確実に確保し、卵の生産サイクルのかなりの部分をシンガポール国内で行うことができるようになります。これにより、食糧供給の回復力を高めることができます。

c. 第三に、アグリフード分野での新たな雇用を創出します。ISE は、持続可能な農場経営、廃棄物や臭気の管理、遠隔監視のための IoT 技術、廃棄物のアップサイクルなど、蓄積されたノウハウと最先端の技術をシンガポールに持ち込みます。ISE は、円滑な運営を可能にするために、地元の農業・食品従事者の強力なコアを必要とします。これは、近い将来、アグリフード分野での科学技術関連の仕事が増えることを意味します。また、このプロジェクトは、ISE が輸出可能な能力を構築し、地域の食糧回復力を強化する「未来の農場」を開発することを可能にします。

4. この MOU は、シンガポールの食糧安全保障をさらに強化するこのプロジェクトを成功させるための、私たちの共通のコミットメントを示すものです。

a. SFA は志を同じくする企業やパートナーと協力して、シンガポールの食糧安全保障を強化するために農業食品産業の能力を高めます。

b. 産業界のパートナーだけでなく、消費者の支援がなければ、食の安全保障を強化するためのシンガポールの取り組みは完了しません。私たちは、より多くのシンガポール人が地元の農産物を支持することを奨励します。

5. ありがとうございました。